

自分たちの生活に結び付けて考えさせるための学校放送の活用

岐阜市立岩小学校 教諭 手島 達雄

小学校4年 社会科 知っつく地図帳

番組の特徴

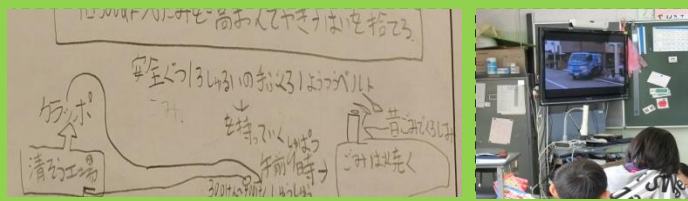
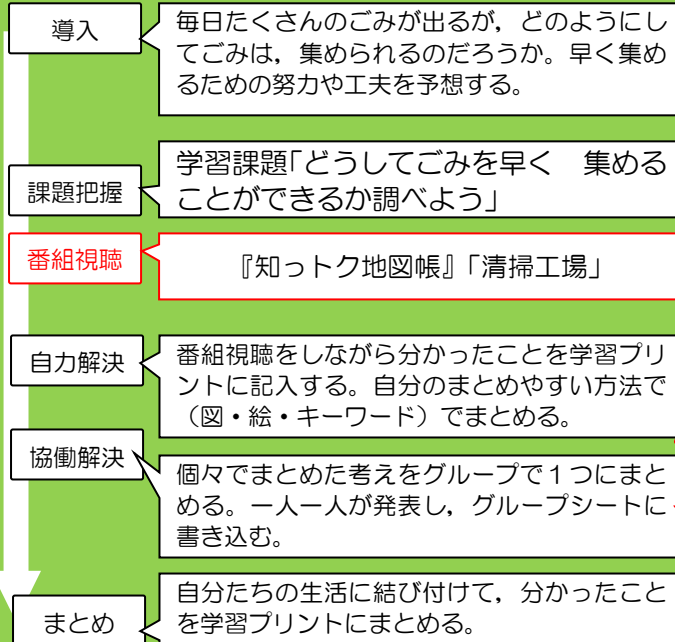
自分たちの暮らしが多くの人々によって支えられているという社会の実態を理解するため、働く人々や現場を番組ナビゲーターが体当たり取材している。番組の中で資料を使いこなしていく様子を通して「資料活用能力」の習得を支援し、単元の内容をより詳しく捉えることができる。

研究の概要

単元の内容をより具体的に理解し、自分たちの生活に結び付けることを目標とした。動画や番組を活用することで「資料を活用する力」を伸ばし、自分の考えの足場を大切に考えた。番組視聴の視点を明確にすることによってノートに文章ばかりでなく、図や表を使ってまとめることができるようになった。明確な考えをもち、更に自分たちの生活に結び付くような考えをもてる子どもが増えてきた。

授業デザイン（1 単位授業時間）

単元：ごみのしよりと利用
目標：ごみの処理と地域の人々の生活とのかかわりに関心をもち、ごみ対策や具体的な処理について調べることができる。



番組や関連動画クリップの活用意図

問題意識をもつための番組視聴

学校や家庭から出るごみは、どのように集められ、どのように処分されているのかを考えさせることによって、自分たちの地域のごみが処分されるのにたくさん人の努力や苦労があることに気付かせたいと考えた。

より課題にせまるための番組視聴

たくさんのごみを決められた時間内で集めるためには、無駄なく効率よく集めなければいけないので、ごみ収集車の経路図が必要であることに気付くであろうと考えた。

思考の可視化にかかわる教師の工夫

自分たちの生活にかかわるための課題の工夫

番組視聴することによってごみがどのように集められ、どのように処分されるのかを理解させるだけでなく、自分たちの生活にかかわった課題を設定し、意識させた。

意見交流の際の学習形態の工夫

グループで考えを発表し合い、グループシートにまとめていくに従って、1つの考えにまとめることができた。自分では気付くことができなかった考えに新たに気付くことができ、学習プリントに記入することができた。全体交流を通して、より深く課題に迫ることができた。

まとめ方の工夫（ノートの活用）

番組や動画クリップを参考に図や絵を取り入れ、自分のまとめやすい方法でまとめることができた。

生き生きと学ぶ子どもの姿

子どもの自己評価から

- 番組や動画を観て、ごみはどのようにして運ばれ、処理されているのかがよく分かった。集めるだけでもとても苦労されている様子が分かった。
- 自分たちの地域のごみ収集車でも同じように経路図を作って、効率よく集めていることが分かった。

評価シートから

実践前後で有意差が見られた項目は以下の通りである。

- じっくりと考えて、自分の考えを深めることができる。
- 自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。
- 番組や資料から（学習課題に沿って）必要な情報を読み取る。

実践を終えて

教科書だけでは分らなかったごみ収集車で働く人たちの努力や工夫が理解できた。更に、ごみを収集する時、大量かつ、けがをしやすいごみがある場合でも決められた時間内に収集しなければいけないことや緊張感も理解できた。資料を見る視点が明確になり、自分の考えをノートにまとめることができた。今後は、グループでの話し合いを充実させ、多様な意見が出るよう、グループの分け方も考え、「自分たちの地域でできるごみの減らし方の提案」という考えをより具体的に実践につなげていきたい。